

2025 年 5 月 16 日

報道関係各位

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

アンコンシャスバイアスに気づき、可能性が広がるきっかけを子どもたちへ！  
「ハットニャール博士の研究所 2025」イベント、8 月 1 日に開催決定！  
今夏の自由研究テーマに、6 月 8 日（日）19 時から参加申込みスタート

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所（東京都港区、代表理事 守屋智敬、以下、本研究所）は、昨年 8 月に開催し大きな反響をいただき、好評だった、小学生を対象とした無料イベント「ハットニャール博士の研究所」を、今年も 8 月 1 日（金）に開催することを決定いたしました。

このイベントでは、「子どもたちの未来の可能性が広がるきっかけになること」を願い、その趣旨に賛同いただいた企業・団体の皆さまとともに、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に気づく“とびら”を提供します。「ハッ！」となる体験の数々がきっかけとなり、「どうせ私には無理だ」といった自分に対する思い込みに気づき、「私にもできるかもしれない!」と思えるようになり、「相手の立場で考えてみよう」という心が育まれる等、イベントに参観いただく保護者を含めた一人ひとりのものの見方が変わることをめざします。また、「夏休みの自由研究」のテーマとして、探究を深めることも期待されるイベントです。

イベントのご参加には、あらかじめお申込みが必要です。参加申込みは、公式 HP (<https://hatto88.com>) より、6 月 8 日（日）19 時から開始予定です。初開催の昨年は、またたく間に満席となり、キャンセル待ちの子どもたちの人数は、500 名をこえました。お申し込みは先着順となりますので、お早めにお申し込みください。申し込み当日のリマインドメールを希望される方は、下記よりご登録をお願いします。

<参加申込み方法>

- ◆申込み開始日時（予定）：2025 年 6 月 8 日（日）19:00～ ※先着順となります
- ◆申し込み方法：公式 HP (<https://hatto88.com>) よりお申込みください

<リマインドメール希望ご登録URL>

- ◆保護者の方：<https://forms.gle/uuLmgGmHcc8mvt9r9>

イベントについて

■イベント概要

- 【名称】ハットニャール博士の研究所 2025
- 【日程】2025 年 8 月 1 日（金）※2部制で開催（午前の部 9:30～12:00／午後の部 13:30～16:00）
- 【会場】日本科学未来館 7 階（〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目 3 番 6 号）
- 【対象】小学生 300 名（つきそいの保護者の入場可）※本イベント参加が初めての方を対象とさせていただきます
- 【参加費】無料（※完全予約制、先着順で定員に達し次第、募集を締め切ります）
- 【主催】一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所
- 【後援】内閣府男女共同参画局／文部科学省／東京都／UNWomen（国連女性機関）日本事務所 他
- 【協賛】順次公表予定
- 【公式 HP】<https://hatto88.com>

## プレスリリース

### ■報道機関、自治体、企業の皆様へ（イベント詳細のご案内）

イベント招致検討のための視察を希望される自治体職員の方、報道関係者の皆さまにおかれましては、イベント詳細や記者説明会のご案内をさせていただきますので、以下よりご登録をいただけますと幸いです。

◆報道機関、自治体、企業の方：<https://forms.gle/Wm35skQ6MFmzkfzL8>

### ハットニヤール博士の研究所とは

#### ■ハットニヤール博士の研究所について（イベントの世界観）

世界中の“ハツとなる”ものを集めて研究しているハットニヤール博士が設立した研究所では、みんなが「ハッ!」となって、そのあとハッハッと笑えたり、パチパチパチと拍手したくなるようなテーマを探して研究しています。

この研究所を訪れると、自らの「無意識の思い込み=アンコンシャスバイアス」に気づき、ものの見方がかわることで、みんなの可能性が無限大に広がっていきます。

#### ■「ハットニヤール博士」

子どもたちに「ハッ!」となる体験を提供してくれる「ハットニヤール博士」。

深くかぶった帽子の下に隠された、博士の真の姿はまだ秘密!



### 2024年のイベントの様子

#### ■「ハットニヤール博士の研究所 2024」の動画（約4分）を公開中です。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=MNAmlP0jjEo>



#### ■イベントレポート

以下のリンクをご覧ください。

<https://hatto88.com/report/event01/>

## プレスリリース

### 【主催者コメント】

#### ■一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事 守屋智敬

昨年、多くの皆さまのご協力のもと、東京国際フォーラムで開催した「ハットニヤール博士の研究所」を、今年も開催することになりました。参加した小学生からの「アンコンシャスバイアスに気づいてよかった!」という声や、ともに参加された保護者からの「大人も学ぶことが多かった」との声、とびらを提供いただいた企業・団体の皆さまの「また子どもたちに伝えたい!」という声をうけ、今年も開催する運びとなりましたことをとても嬉しく思います。

初開催の昨年は、またたく間に満席となり、キャンセル待ちの子どもたちの人数は、500名をこえました。一人でも多くの子どもたちに「アンコンシャスバイアスに気づこうとすること」の大切さをお届けしたい!との思いから、東京開催としては、二度目となる今年は、「このイベントにはじめて参加する小学生」を対象とさせていただくことにいたしました。

子どもたちが、アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)に気づき、ものの見方を変えてみよう!と思えるような体験をすることは、これからの社会のあり方を変えていくことにもつながるように思います。「ハッ!」となる体験の数々が、子どもたちの可能性が広がる未来への一歩となることを願っています。

### 【プロデューサー紹介】

#### ■株式会社小国士朗事務所 代表取締役 小国士朗

2003年 NHK に入局。ドキュメンタリー番組を制作するかたわら、150万ダウンロードを記録したスマホアプリ「プロフェッショナル 私の流儀」の企画開発や世界150か国に発信された、認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店」などを手がける。2018年6月をもってNHKを退局し、現職。

“にわかファン”という言葉を生んだ、ラグビーW杯のスポンサー企業アクティベーション「丸の内15丁目Project.」やみんなの力で、がんを治せる病気にするプロジェクト「deleteC」、高齢者が地域のサッカークラブのサポーターになって心身の健康を取り戻す「Be Supporters!」など、幅広いテーマで活動を展開している。

著書に「笑える革命 ～笑えない社会課題の見え方が、ぐらりと変わるプロジェクト全解説～」(光文社)他。

### 【主催団体の紹介】

#### ■一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

がんに対するアンコンシャスバイアスをテーマとしたワークショップがきっかけとなり、2018年8月8日に設立。アンコンシャスバイアスに気づくことで、可能性が広がり、一人ひとりがイキイキする社会をめざして、セミナー、講師養成、調査、監修等を実施。これまでに10万人をこえる方々へ「アンコンシャスバイアスに気づこうとすることの大切さ」をお伝えしています。2021年からは、小・中学校での出張授業をスタート。2022年には、共同研究「がんと仕事に関する意識調査報告書」を発表。毎年8月8日は「アンコンシャスバイアスに気づこう!の日」を記念日制定。

【公式サイト】<https://www.unconsciousbias-lab.org/>

### 【参考情報】

#### ■「アンコンシャスバイアス」とは?

私たちは、何かを見たり、聞いたりしたとき等に、「無意識に“こうだ”と思い込むこと」があります。これを、アンコンシャスバイアス(unconscious bias)といいます。日本語では、「無意識の思い込み」等とも表現されています。アンコンシャスバイアスは、「相手」に対するものもあれば、「モノ」に対してや、「自分自身」に対するものもあり、誰にでもありうるものです。アンコンシャスバイアスに気づくことにより、相手に対するものの見方がかわったり、他の選択肢を考えてみようと思えたり、新たなアイデアがうまれたり、一歩踏み出す勇気ももてる等、様々な変化が期待される概念です。

■子どもたちへの出張授業（実績）

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所は、これまでに、全国 70 校をこえる小・中学校で、アンコンシャスバイアス授業を提供してきました。授業後の感想文には、「アンコンシャスバイアスに気づけなかったら、可能性をせばめてしまうところだった」等の声が、多数寄せられています。

■8 月 8 日は、「アンコンシャスバイアスに気づこう!」の日。

アンコンシャスバイアスは、「無意識」がゆえに、なかなか気づきにくいかもしれません。だからこそ、毎年 8 月 8 日は、一人ひとりが、「私には、どんなアンコンシャスバイアスがあるだろうか？」等をふりかえる機会となることを願い、制定された記念日です。誰もが自分ごととして、「私には、どんなアンコンシャスバイアスがあるのだろうか？」とふりかえるとともに、気づこうとすることの大切さに思いをよせる日になればと思っています。

<https://www.unconsciousbias-lab.org/88>

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所（担当：太田・坂本）

<https://www.unconsciousbias-lab.org/contact/>